

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成26年6月19日 (2014.6.19)

【公表番号】特表2013-532316(P2013-532316A)

【公表日】平成25年8月15日 (2013.8.15)

【年通号数】公開・登録公報2013-043

【出願番号】特願2013-508129(P2013-508129)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0482 (2013.01)

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

G 0 6 T 11/20 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/048 6 5 4 B

G 0 6 F 3/048 6 5 6 A

G 0 6 F 3/048 6 5 1 B

G 0 6 T 11/20 1 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月25日 (2014.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スピコンントロールを使用してデータの書式設定およびグラフ化を一時的に行う方法であって、

ディスプレイ上に現在表示されているデータのユーザ選択を受け取るステップと、

前記選択されたデータ内の値を判定するステップと、

前記選択されたデータから前記値を表すグラフを自動的に表示するステップであって、前記グラフは、前記データのユーザ選択を受け取ることに応答して自動的に作成され、表示される、ステップと、

中心点の周りを回転し前記中心点の周りのパイ型領域に配置されたオプションを含むスピコンントロールのグラフィカルユーザインターフェースを表示するステップであって、前記オプションは、選択されると前記グラフの表示に作用し、前記中心点は、前記グラフの近傍に位置し、前記スピコンントロールのグラフィカルユーザインターフェースの一部は、前記グラフの表示によって部分的に隠される、ステップと、  
を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記スピコンントロールは時計回り及び反時計回りに回転し、前記スピコンントロールの動きにより、前記チャートに適用される異なるオプションが表示されることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

現在適用されているオプションを表すパイ型領域の外側にある、前記スピコンントロール内のパイ型領域を選択するポインティングデバイスを判定したことに応じて、前記スピコンントロールを回転して前記異なるオプションを表示するステップをさらに含むことを特徴とする請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記スピンコントロールを回転することにより、別のオプションが自動的に選択され、前記別のオプションが前記表示されたグラフに適用されることを特徴とする請求項2記載の方法。

【請求項5】

前記スピンコントロールの前記中心点は前記表示されたグラフの角に位置していることを特徴とする請求項2記載の方法。

【請求項6】

スピンコントロールのグラフィカルユーザインターフェースと対話するためのコンピュータ実行可能命令を有するコンピュータ可読記憶媒体であって、前記命令はコンピュータのプロセッサ上で実行されると、コンピュータに、

データのユーザ選択を受け取ることに応答して、前記データのユーザ選択に含まれる値から作成されるドキュメントを自動的に表示するステップと、

スピンコントロールのグラフィカルユーザインターフェース内に提示するオプションを判定するステップであって、前記オプションは選択されると、前記表示されたドキュメントに適用される、ステップと、

前記スピンコントロールを前記表示されたドキュメントの近傍に前記表示されたドキュメントによって部分的に見えなくされた状態で表示するステップであって、前記スピンコントロールは、前記スピンコントロール内に提示するよう判定された前記オプションに基づいて、複数のパイ型領域に分割され、前記パイ型領域の各々が前記判定されたオプションの1つを表す、ステップと、

ユーザ入力をモニタリングして、いつ前記スピンコントロールが対話されたかを判定するステップと、

前記スピンコントロールがユーザ入力によって操作されたことに応じて、前記スピンコントロールの表示を更新し、前記スピンコントロールの異なる一部分が前記表示されたドキュメントによって部分的に見えなくされる結果をもたらすステップであって、前記スピンコントロールは中心点の周りを回転するステップと、

前記スピンコントロールの回転に応じて選択されるオプションを適用するステップと、を含むことを実行させることを特徴とするコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項7】

スピンコントロールのグラフィカルユーザインターフェース要素を表示して対話するシステムであって、

プロセッサ及びコンピュータ可読記憶媒体と、

前記コンピュータ可読記憶媒体に格納され、前記プロセッサ上で実行されるオペレーティング環境と、

ドキュメント及び前記スピンコントロールを表示するディスプレイと、

前記プロセッサ上で動作し、タスクを実行するよう構成されるビジュアルマネージャと

、  
を含み、前記タスクは、

データのユーザ選択を受け取ることに応答して、前記データのユーザ選択に含まれる値から作成されるドキュメントを自動的に表示するステップと、

前記スピンコントロールのグラフィカルユーザインターフェース内に提示するオプションを判定するステップであって、前記オプションは選択されると、前記表示されたドキュメントに適用される、ステップと、

前記スピンコントロールを前記ドキュメントの表示の近傍の前記ディスプレイに、前記表示されたドキュメントによって部分的に見えなくされた状態で表示するステップであって、前記スピンコントロールは、前記スピンコントロール内に提示するよう判定された前記オプションに基づいて複数のパイ型領域に分割され、前記パイ型領域の各々が前記判定されたオプションのうちの1つを表す、ステップと、

ユーザ入力をモニタリングして、いつ前記スピンコントロールが起動するかを判定するステップと、

前記スピコンントロールが起動したことに応じて、前記スピコンントロールの表示を更新し、前記スピコンントロールの異なる一部分が前記表示されたドキュメントによって部分的に見えなくされる結果をもたらすステップであって、前記スピコンントロールは中心点の周りを回転する、ステップと、

前記スピコンントロールの回転に応じて選択オプションを自動的に適用するステップと、

、

前記表示されたドキュメントが前記ディスプレイから除去されたことに応じて、前記スピコンントロールを前記ディスプレイから除去するステップと、

を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 8】

前記スピコンントロールは時計回り及び反時計回りに回転し、前記スピコンントロールの前記回転により、前記ドキュメントに適用する異なるオプションが表示され、現在適用されているオプションは、前記スピコンントロールのパイ型領域内に提示され、前記スピコンントロールは前記ドキュメントに対して斜めに表示されることを特徴とする請求項 7 記載のシステム。

【請求項 9】

現在適用されているオプションを表すパイ型領域の外側にある、前記スピコンントロール内のパイ型領域を選択するポインティングデバイスを判定したことに応じて、前記スピコンントロールを回転して前記異なるオプションを表示することをさらに含むことを特徴とする請求項 8 記載のシステム。

【請求項 10】

前記スピコンントロールは前記ドキュメントの角に位置していることを特徴とする請求項 8 記載のシステム。